

船舶事故調査報告書

平成27年2月5日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	沈没
発生日時	不明（平成25年9月9日（月） 16時00分ごろ～10日（火）06時08分ごろの間）
発生場所	沖縄県那覇港 那覇港右舷灯台から真方位113°1,120m付近 （概位 北緯26°12.5′ 東経127°40.4′）
事故調査の経過	平成25年9月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 エンペラー、12トン 243-21316 沖縄、個人所有 11.88m (Lr) × 3.80m × 1.12m、軽合金 ディーゼル機関2基、561.96kW（合計）、平成2年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 40歳 一級小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成17年1月20日 免許証交付日 平成21年12月21日 （平成27年1月19日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長が平成25年9月9日16時00分ごろ、遊漁を終えて那覇港内の明治橋付近に係留していたところ、10日06時08分、本船が沈没していることに気付いた通行人が海上保安庁に通報した。 本船は、引き揚げられた後、全損として処理された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、波高 約1m 潮汐 高潮 21時17分ごろ（潮高約220cm） 低潮 03時42分ごろ（潮高約48cm）
その他の事項	本船は、本事故までの2年間、船尾管軸受からの漏水が2回発生していたが、その都度、船長が、同軸受の締付けボルトを増締めすれ

	<p>ば、同軸受からの漏水が止まるので、船尾管軸受の詳細な点検を実施していなかった。</p> <p>本船は、引き揚げられた際、船体に亀裂、破口等はなく、船体の外側からプロペラ軸周りを水中ボンドで覆ったところ、船内への漏水が止まることが確認された。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 あり なし</p> <p>本船は、那覇港に係留中、船尾管軸受から漏水して機関室内に水が溜まったことから、沈没したものと考えられる。</p> <p>本船は、船尾管軸受のパッキン類が経年使用されていたこと、本事故発生までに同軸受の締付けボルトが2回増締めされていたこと、及び船体に亀裂、破口等はなく、船体の外側からプロペラ軸周りを水中ボンドで覆ったところ、船内への漏水が止まったことから、船尾管軸受のパッキン類が硬化して漏水した可能性があると考えられるものの、漏水に至った経緯については明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、那覇港に係留中、船尾管軸受から漏水して機関室内に水が溜まったため、沈没したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船体等に不具合を認めた場合、原因調査を行い、必要に応じて修理業者等に修繕を依頼すること。